

【美術】

～ClassPad.net のリンクふせん・ファイルふせんを活用する～

〔1 授業目／全 3 授業〕 お菓子のパッケージデザインを題材に、
魅力的な創意工夫について考える授業

お菓子のパッケージ鑑賞のみならず、自らお菓子の商品企画とパッケージデザインに挑戦する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：生徒が暮らす地域の特色や特産品を生かしたお菓子を考えさせ、その魅力が伝わるようなパッケージをデザインさせることで、創意工夫の大切さを理解させる。

生徒向けの目標：お菓子のパッケージを鑑賞し、商品企画からパッケージのデザインに至るまで、どのようなプロセスがあり、どのような創意工夫がなされているかを捉える。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・授業準備の時短／効率化：事前にリンクふせんやファイルふせんを用意することで、検索やプリント配布の手間なく授業時間を有効に活用することができる。
- ・個別最適学習の促進：カメラふせんで生徒の制作状況を記録しておくことで、個々のセンスやスキルに応じたフィードバックが可能になる。
- ・評価／評定を効率化：生徒の制作状況を記録したカメラふせんや、提出されたファイルふせんなどにより、端末一つで本授業時の生徒評価が可能になる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

<今日の授業>

自分が暮らす地域限定のお菓子を考案し、パッケージをデザインしよう！

旅行先で買ったことがあるお菓子や、お土産でもらったことがあるお菓子などから、イメージをふくらませよう。

→ 完成させたデザインをもとに、プレゼンテーションまでチャレンジしてもらいます！

概要の説明

今回から計 3 回の授業を通じて、自分が考えたお菓子とそのパッケージをデザインし、それらをプレゼンテーションしてもらおうという授業の流れを説明する。

step2

【鑑賞】

地方で有名なお菓子のパッケージを確認しながら、どのような工夫が込められているかを考えてみよう。

<考える際の観点>

- ・商品自体の魅力
- ・パッケージの機能性
- ・色や形、中身が伝わる工夫……など

鑑賞

地方で有名なお菓子のパッケージを鑑賞させ、どのような工夫が込められているかを以下のような観点で考えてもらう。

- ・商品自体の魅力
- ・ネーミング
- ・パッケージの機能性
- ・色や形、中身が伝わる工夫 など

地方のお菓子を取り上げられている Web サイトの URL を貼り付けたリンクふせんでいくつか用意しておき、プロジェクターや電子黒板などを用いてリンク先にあるパッケージ画像を全員で確認する。サムネイルの確認だけで済ませてもよい。

step3

【発表】

先ほどのパッケージ画像を見て気づいたこと・考えたことなどを発表してください。

その際、

- ・どのお菓子の、
 - ・商品またはパッケージのどのようなところに、
 - ・どのように感じたか、考えたか
- といったことを話してください！

発表・補足

step2 で考えてもらったことについて、数人の生徒に発表してもらう。教員は、必要に応じてポイント解説や補足を行う。

step2 で取り上げたリンクふせんの中で、パッケージ画像に関する工夫などが記載されている Web サイトがある場合は、補足の際に活用するとよい。

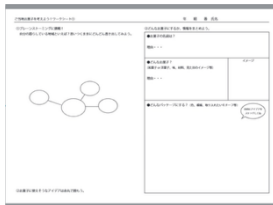
step4

【企画およびアイデアスケッチ】

ここからは、皆さん自身にオリジナルのお菓子を考えてもらいます。

くやり方

- ・自分が暮らす地域の特色や特産品などを意識したお菓子やパッケージデザインにすること。
- ・ワークシートをもとに、まずはブレインストーミングしながらお菓子の企画を立てること。
- ・お菓子を考えたら、そのお菓子にふさわしいパッケージデザインのスケッチを始めること。
- ・パッケージの形は指定します。



企画内容のまとめとアイデアスケッチ

教員が各生徒にワークシートを配布し、それに沿って、オリジナルのお菓子とそのパッケージデザインのアイデアを練ってもらう。その際、自分が暮らす地域の特色や特産品などを意識したお菓子やパッケージデザインになるよう留意させる。

Wordなどで作成したブレインストーミングに適したワークシートと、実際のパッケージ制作に用いるものと同じ縦横比率になっている展開図をファイルふせんにしておき、授業支援機能を用いて生徒に配布する。ワークシートに手描き機能でアイデアスケッチを記載させている間、教員は教室（美術室）内を巡回し、全員の参考になりそうなアイデアスケッチをカメラふせんの機能で撮影しておく。

step5

【進捗の確認】

- ・先ほどのワークシートを提出してください。（出来たところまでのもので構いません）
- ・本日の授業の振り返りシートを配布するので、そちらも提出しましょう。
- ・「進みが遅いな……」と感じる人は、自宅などで進めておいてもOKです！

進捗と次回の目標確認

その日に出来たところまでのアイデアスケッチを教員に提出させる。また、教員は振り返りシートを生徒に配布し、こちらも記入の上、提出してもらう。

Wordなどで作成した振り返りシートをファイルふせんにして、授業支援機能を用いて生徒に配布し、手描き機能で記載してもらう。また、アイデアスケッチのファイルふせんと、振り返りシートのファイルふせんを、教員に課題として提出してもらう。

step6

※生徒の制作風景をカメラふせんの機能で撮影しておき、全体の参考となるようなアイデアを出した生徒がいる場合は、ここで紹介する。

参考・補足

授業内で、全体の参考となるようなアイデアを出した生徒がいた場合は、そのアイデアを紹介する。

step4においてカメラふせんの機能で撮影しておいた映像を、プロジェクターや電子黒板などを用いて見せる。